

# 西高混声合唱団

結成 15 周年記念演奏会



2015年5月17日（日）

14：00開演（13：30開場）

三鷹市公会堂 光のホール

## 《ご挨拶》

### 西高混声合唱団 代表 広島 絵里子（西高21期）

本日はお忙しい中、西高混声合唱団結成15周年記念演奏会にご来場賜り、心よりお礼申し上げます。西高混声合唱団は「東京校歌祭」に出演した都立西高同窓生を中心に2000年榊原休一先生のご指導のもと「西高同窓会合唱団」として発足し、2002年より現名称に改めメンバーを西高同窓生だけでなく西高関係者に拡大致しました。

2005年より頭声発声による美しい響きを大事にされる黒田彰先生のご指導に替り、発声の徹底指導を受けながら練習を重ね、2007年に第一回演奏会開催後、東日本大震災を経た2012年の第二回演奏会では東北に想いを寄せ、深い哀悼の祈りを捧げ、再生への願いを込めて演奏させて頂きました。

結成して今日まで15年続けて来られましたのも素晴らしい指導者に恵まれたことは言うまでもなく、自由な中にも真摯に努力を惜しまず、団員同士互いに尊重し合い感謝の気持を持つ西高精神を基本姿勢としてきたからではないかと思えます。チームワークで美しいハーモニーが出来た時、歌う幸せを皆で分かち合ってきました。

本日第三回演奏会では西高大先輩の大中恩先生作曲「わたりどり」を取り上げております。フォーレ「レクイエム」に重ね合わせ、永遠の安らぎを得た魂が、光の国へ向かうとき、鳥のように自由に楽しそうに天空を飛びながら、地上の愛する人々を優しく見守っているイメージを持ち、人は過去・現在・未来へ繋がっていくことに想いを馳せながら演奏させて頂きます。

最後に本日の演奏会のためにお力添え頂きました総ての方々に深く感謝申し上げます。

### 西高混声合唱団 指揮者 黒田 彰（西高27期）

本日は、お忙しいところ、ご来場頂き、誠にありがとうございます。お陰様で、ここに第三回定期演奏会を開催できますことは、本当に嬉しいことです。この合唱団は、西高卒業生、西高生父母、元西高教員を中心として発足しました。合唱経験は、西高合唱部がNHKコンクール全国大会に出場した時のメンバーもいれば、70歳を過ぎてから合唱を始められた方まで様々です。歴代の団長さんを中心に、15年間、生涯学び続けることを実践し、後輩に示されています。今回残念ながら、西高同窓生で、音楽大学を卒業しプロの声楽家として活躍するバリトンソリストを半年以上探しましたが、見出すことができませんでした。また、この光のホールにちなみ、身近でありながら、110年前に漸く解き明かされた光と、西高同窓生の音楽に光を当ててみました。皆様と、演奏会の最後に、今日来たくても来られなかった方々のことを思い、第二回定演に歌いました「花は咲く」と「見上げてごらん夜の星を」を合唱したいと思っております。そして、もっと歌いたいと思われた方は、どうぞご入団ください。

終わりにこのコンサートのためにお忙しい中、文章をお寄せ頂きました先生方、このコンサートのためにご尽力いただきました皆様、そしてハーバード大学と同じく、合唱音楽にご理解ご支援を賜りました同窓会そして西高等学校に厚く御礼申し上げ、ご挨拶と致します。

2015年5月17日バッハ、ヘンデル生誕330年の年に

## 《演奏会に寄せて》

### 作曲家 大中 恩（十中1期）

結成15周年記念演奏会、ほんとうにお目出とうございます。今日演奏されます作品の作曲家、信時潔氏は、芸大の時の私の恩師であり、十中の校歌を作っておられる方ですし、團伊玖磨君は芸大作曲科の時の同級生です。お二人に出会ったのは1942年、つまり西高（都立十中）を出たと同時に、今日唱われる方々、そして関係者、みんなみんな十中時代の仲間のような懐かしさを感じてしまうのがおかしいですね。

時代がそうだったから・・・と言ってしまえばそれまでですが、芸術的な香りなど微塵もないあの学校に、いまこうして立派な音楽を創り出す合唱団が出来ているなんて、考えられない不思議さです。でもやっぱり嬉しいことです。素晴らしいことです。

私、90才を越えた現在も「作曲家」として生きていられることを感謝しています。いつかまた皆さんに新しいうたを歌っていただけることを願っています。ありがとう！！

### 西高混声合唱団 初代指揮者 榊原 侘一（十中2期）

西高混声合唱団結成15周年おめでとう。この機会に団結成までの足跡を振り返ってみよう。1993年秋、旧制高校寮歌祭をまねた旧制府立中学校歌祭なる催しが日比谷公会堂で行われたが、戦前の校歌を歌える年配者約40名ほどを同窓会事務局と手分けして集めた。この会はその後毎年行われ、第五回までは当初の吹奏楽部の伴奏からカラオケブラバンとなり、第六回からはもう少し音楽的に、と同窓生の中から現在の伴奏者大島さんの登場となったのである。

これが数年続いた頃当時の参加者の一人、高島さんより正式の合唱団を結成しませんかとの提案があり、彼女宅から同窓会館食堂へピアノを運んでくれた。こうして2000年冬、初めて西高混声合唱団が発足した。当初は月1回程度の練習だったが、母校の周年行事や同窓会行事、また杉並区民合唱祭への出演などで次第に団員のやる気も上がってきた。2005年私も病気がちとなり、現指揮者黒田さんに交代。声楽家黒田さんのもとのコンサートが開けるほどの合唱団になったこと、創立にかかわった者として心から嬉しく思っている。

### 東京都立西高等学校 校長 宮本 久也

西高混声合唱団結成15周年記念演奏会、誠におめでとうございます。私は西高に着任して4年目を迎えますが、西高の良さの一つは、同窓生の皆さんが卒業された後も集まって様々な活動を熱心にされていること、常に現役の生徒達を温かい目で見守って下さり、様々な形で積極的に支援して下さることです。生徒達もそういう先輩方を見て西高生活を送っていますから、卒業すると同じように学校をサポートしてくれます。学校にとっては貴重な財産であり、いつまでも大切にしていきたいと思っています。

本日演奏会を開かれる混声合唱団の皆さんは、西高に在学した時期は違っても、同じ学び舎で高校生活を過ごした仲間が合唱という共通の目的のもとに集まり、15年の長きにわたって活動されてきました。本当に素晴らしいことです。演奏会では、日頃の練習の成果を如何なく発揮されて素晴らしいハーモニーを聞かせて下さることを期待しています。

### 西高同窓会 会長 小林 周一（西高17期）

結成15周年記念演奏会おめでとうございます。15年の長きにわたって合唱団を維持していくには、団員の皆様の熱意がなければなりません。皆様の熱意に深く敬意を表します。ピアノ寄贈、校歌祭出演を契機として、2000年にこの合唱団が結成されたとお聞きしています。当時は榊原侘一（十2）先生が指揮者でした。その後黒田彰（西27）先生に代われ、西高会館を本拠練習場として、ますますご隆盛とのこと、ご同慶のいたりと存じます。西高混声合唱団には、同窓会の各種催しに常々ご協力をいただき、感謝しています。もともとの校歌祭参加をはじめ、ホームカミングデー、記念祭などの機会にご出演をいただいています。15周年の節目を迎え、このあと20周年、30周年と年輪を重ねていかれることを祈念します。母校西高は2017年に80周年を迎えます。これを契機に、同窓会は一層会員相互の交流を深めてまいりたいと存じます。西高混声合唱団の活動にますます期待を寄せております。

### 西高元音楽教諭・西高PTAコーラス《ひまわり》 指揮者 長澤 明正

15周年記念演奏会おめでとうございます。《西混》は創立以来、様々なイベントや杉並区の〈サマー・コンサート〉にも出演され、すばらしい成果を重ねてこられました。西高生がことあるごとに歌う『学友歌』は大先輩である大中恩さんの作曲で、心を揺さぶる名曲です。『わたりどり』も私の大好きな日本の名歌、心の歌です。組曲「沙羅」の作曲者は西高の校歌と同じ、日本のバッハとも言える信時潔氏。骨太で味わい深い古典的な名曲です。

指揮の黒田彰さんは名バリトン歌手として多方面で活躍、教育実習のときは得意の日本歌曲を歌い喝采を浴びました。フォーレのレクイエムのソロ・高橋美千子さんはフランスで学び、今はヨーロッパを主に活躍されている実力派。すばらしい歌姫です。記念演奏会にふさわしいプログラムだと思います。ご成功を心よりお祈りいたします。

# プログラム

## 第1部 日本の歌

1. 混声合唱組曲「沙羅」より  
丹澤・あづまやの・北秋の  
清水 重道 作詞/信時 潔 作曲/木下 保 編曲
2. わたりどり  
北原 白秋 作詞/大中 恩 作曲
3. 沼  
大木 惇夫 作詞/大中 恩 作曲
4. 早春賦  
吉丸 一昌 作詞/中田 章 作曲/林 光 編曲
5. 中国地方の子守歌  
日本古謡 山田 耕筰 作曲/林 光 編曲
6. 混声合唱組曲「筑後川」より 河口  
丸山 豊 作詞/團 伊玖磨 作曲

指揮:黒田 彰 ピアノ:平山 美帆子

～～～休憩～～～

## 第2部 G. フォーレ作曲 「レクイエム」ニ短調 作品48 (ピアノと弦楽四重奏伴奏)

1. 入祭唱とキリエ
2. 奉献唱
3. サンクトゥス
4. ピエ・イエズ
5. アニュス・デイ
6. リベラ・メ
7. 楽園にて



指揮:黒田 彰

ソプラノソロ:高橋 美千子 バリトンソロ:細岡 雅哉

ピアノ:大島 優子

ミューズ・カルテット:(1st vn)山本 伸子・(2nd vn)村瀬 敬子  
(Vla)恵谷 真紀子・(Vc)伊藤 恵以子

全員合唱 ～～会場のみなさまも一緒に～～

見上げてごらん夜の星を  
花は咲く



## 出演者紹介

### 黒田 彰 合唱指揮者、ボイストレーナー、声楽家（バリトン） 西高27期

東京生まれ。自由学園幼児生活団（東久留米）にて、ピアノ、ソルフェージュの音楽教育を受ける。都立西高校を経て、中央大学法学部、武蔵野音楽大学、同大学院を修了。声楽を高2から原口隆一氏に、音大より疋田生次郎氏に師事。文化庁オペラ研修所第5期修了。オペラ「ドン・ジョヴァンニ」のタイトルロールでデビュー。1985年武蔵野音大附属幼稚園お母さんコーラス指揮で合唱指揮者デビュー。1988年二期会オペラ「メリーウィドー」に出演（これ以後10年間出演）、その公演はNHK 芸術劇場で放映される。1992年から2006年までに、ブラームス：ツィゴイネルリーダー、高田三郎：水のいのち（Tamaライブ21）またピアノ伴奏にエレクトーン、小編成弦楽アンサンブル等の工夫をし、東久留米混声合唱団とともにヘンデル「メサイア」、ベートーヴェン第九コンサート指揮（4楽章）（東久留米市新市庁舎完成記念）、フォーレ「レクイエム」、モーツァルト「レクイエム」、シューベルト「ミサ」、モーツァルト「戴冠ミサ」の指揮を行った。声楽家としては、1992年カザルスホールにてリサイタル。第3回奏楽堂日本歌曲コンクール入選。1996年阪神大震災チャリティコンサート2001年新国立劇場「沈黙」、ホールオペラ「運命の力」、「椿姫」など多数に出演。その後、2002年武蔵野音楽大学派遣にて米国インディアナ大学音楽学校、ハーバード大学音楽学部を客員研究員として視察研修。そのリサイタル演奏は、ハーバード大学図書館に収蔵された。コーラス・ボストン（同大学日本人職員を中心）の発声指導を行った。帰国後、西高混声合唱団とは、第一回定期演奏会（2007年3月）、2008年オペラ「ジャンニ・スキッキ」タイトルロールで出演好評を得ている。東日本合唱祭（岩手）（城西混声合唱団）指揮者（2010年）。2011年5月には、東日本大震災の被災地に想いを寄せるコンサート「夢見たものは、ひとつの家族の歌」に、家族とともに出演（渋谷区長谷戸社会教育会館依頼）。その後の一年、東北そして、それ以後に起きた自然災害被災地に思いを寄せ「一度歌うことは二度祈る」演奏を行った。第二回西高混声合唱団定期演奏会東北に思いを寄せるコンサート（2012年3月11日）。ハーバード大学クロコディオロス合唱団と共演（城西国際大学合唱団指揮）。オペレッタ「メリーウィドー」（千葉県野田市）に出演。東京銀座ヤマハホールにて黒田彰バリトンリサイタルを開催し、好評を博した。2013年ヴォイストレーナーを務める小松原高校が第80回NHKコンクール全国大会出場（男子高として18年ぶり）。2014年七夕コンサート、佐久サマーコンサート出演、小松原高校NHKコンクール関東甲信越大会で4位銀賞（3位まで全国出場）、武蔵野音楽大学女声合唱（高校時代コンクール金賞歴学生を中心）で歌劇蝶々夫人の合唱CD録音指導（1曲）を行い、その完成度を絶賛された。本年黒田彰デビュー30年記念プロジェクト（声楽家、大学教育者、合唱指揮者）として、1月ウィーン・ザルツブルグ海外視察を行う。

現在 武蔵野音楽大学声楽学科准教授（声楽、大学院歌劇史講座、女声合唱講座担当）、武蔵野高等学校講師、日本声楽発声学会正会員、東京二期会オペラ劇場会員・代議員、木下記念日本歌曲研究会会員、東久留米混声合唱団、JOSAI紀尾井町混声合唱団（城西国際大学）の合唱指揮者、小松原高等学校音楽部ボイストレーナー、日本演奏連盟会員、アメリカ合衆国声楽教育者協会（NATS）正会員。

### 大島 優子 ピアノ伴奏 西高26期

国立音楽大学ピアノ科卒業、同大学院ピアノ専攻修士課程を首席で修了。同時にクロイツァー賞受賞。川口恒子、青山三郎、クロイツァー豊子の各氏に師事。その他、リー・カム・シンやハリーナ・チェルニー・ステファンスカ等の個人レッスンを受ける。1982年にデビューリサイタル。以降、ソロとしては1984年、1985年、1995年、1997年にジョイントリサイタル、1998年、2001年、2005年にはリサイタルを開催。また、国立音楽大学オーケストラ定期演奏会にてピアノコンチェルトを演奏。その他、地域のファミリーコンサートなどの活動や、声楽、合唱の伴奏を行う。西高混声合唱団では、発足当初（2000年）より伴奏をつとめる。

現在、国立音楽大学、長野県小諸高等学校音楽科講師。ピティナ（PTNA全日本ピアノ指導者協会）正会員、クロイツァー記念会会員。

### 平山 美帆子 ピアノ伴奏 西高27期

武蔵野音楽大学器楽学科ピアノ専攻卒業。

奥和子、福岡敏彦、森山ゆり子の各氏に師事。在学中に福井直秋記念奨学生に選ばれる。

東京文化会館、推薦音楽会に出演。

(財)ヤマハ音楽振興会・目黒センター勤務の後、現在は後進の指導、アンサンブル活動の傍ら、プリムラコーラスをはじめ数々の合唱団のピアニストを務める。

復興支援コンサートや老人施設や病院への訪問コンサートを積極的に行う。

### 高橋 美千子 ソプラノソロ 西高48期

東京都出身。ルネサンスから現代音楽委嘱作品まで幅広いレパートリーを持つソプラノ。

東京藝術大学卒業後、アンサンブル・プラネタとしてポニーキャニオンよりCDデビュー、5年間に渡り専属アーティストとして活動。その後、波多野睦美、つのだたかしより古楽の手ほどきを受け、2007年モンテヴェルディ『オルフェオ』にてバロックオペラデビュー、清新な歌唱と演技を評される。

古楽の名歌手アニェス・メロン女史に才能を見出され、古楽への造詣を深めるべく渡仏。

イェール市立音楽院、パリ市立高等音楽院古楽科で研鑽を積む傍ら、フランスでの演奏活動を本格的に始め現在に至る。アニェス・メロン、ハワード・クルック、イザベル・プルナルに師事。野村文化財団奨学生、第10回プロヴェンツァーレ国際バロック声楽コンクール3位入賞（1位なし）。2009年からパリ在住。

パーセル『妖精の女王』神秘・嘆き役、バンキエーリ『La pazzia senile』、モンテヴェルディ『オルフェオ』、ラモー『優雅なインドの国々』ジーマ役、ラモー『プラテ』フォリー・タリー役、モーツァルト『フィガロの結婚』スザンナ役、ボワモルティエ『公爵夫人家のドン・キホーテ』公爵夫人役などのオペラに出演し、高い演技力と圧倒的な存在感を評価される。また宗教音楽ソリストとして、バッハ「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」「マニフィカト」、ヘンデル「メサイア」、ヴィヴァルディ「グローリア」、ハイドン「セシリアミサ」、ペルゴレージ「スタバト・マーテル」、モーツァルト「戴冠式ミサ」「レクイエム」、フォーレ「レクイエム」など著名な作品に加え、アレグリ、ジェズアルド、シュッツ、ブクステフデ、テレマン、クーラン、シャルパンティエ、モンドンヴィル、ポルポラといった中世からバロック後期宗教曲においても、時代やスタイルを心得た的確な歌唱と表現力、透明感のある歌声は日本のみならずフランスでも数々の指揮者から信頼を受けている。これまでに、Les Cris de Paris (J. ジョルダン)、Le parlement de Musique (M. ジェステル)、Ensemble la Fenice (J. テュベリ)、Ensemble Barcarole (A. メロン)、Ensemble Sagittarius (M. ラプレニ)、Doulce Mémoire、Le tendre amour、Ensemble Desmarest、Ensemble Stradivaria (D. キュイエ) などと共演。

### 細岡 雅哉 バリトンソロ

武蔵野音楽大学声楽科卒業。同大学院修了。黒田彰氏に師事。

大学4年次にモーツァルト『魔笛』のパパゲーノ役でオペラデビュー。卒業後はバリトン歌手として活躍し、オペラにおいて40役を超える主要バリトン役のレパートリーを持つ。イタリア、ドイツの代表的な作品に多数出演する他、日比合作オペラ『高山右近』、テーリヒェン作曲『あと40日』。オペラ『ザビエル』の3作品で世界初演の主役を務める。またオペラの演出家として、これまでに『フィガロの結婚』『コジ・ファン・トゥッテ』『魔笛』『リゴレット』『トスカ』『ラ・ボエーム』『蝶々夫人』『修道女アンジェリカ』『ジャンニ・スキッキ』『道化師』『カヴァレリア・ルスティカーナ』『スザンナの秘密』『アドリアーナ・ルクヴルール』『あさくさ天使』などを手がける。2011年よりちちぶ国際音楽祭のオペラ公演監督を務める。またオペラ指揮者として『ラ・ボエーム』『蝶々夫人』『トスカ』『フィガロの結婚』に出演している。2015年8月ちちぶ国際音楽祭オペラ『トゥーランドット』では指揮／演出を務める。

新国立劇場合唱団契約メンバー。東京オペラ・プロデュースメンバー。オペラ・アクターズ代表。ちちぶ国際音楽祭オペラ公演監督。

## ミューズ・カルテット

### 山本 伸子 (第一バイオリン)

東京都出身。東京芸術大学卒業、同大学院修了。  
田中千香士 師に師事。NHK洋楽オーディション合格。  
日本モーツァルトコンクール入選 イタリア サンタ・チェチリア音楽院修了。  
リッカルド・ブレンゴラ、フェリックス・アーヨに師事 タラント室内楽コンクールに於て、  
ピアノトリオで2位に入賞。ソロ、室内楽、室内オーケストラ等で演奏活動を行ったのち、  
1992年に帰国。現在、各方面で幅広く演奏活動を行うほか、茨城県立取手松陽高校音楽科講師  
として後進の指導にあたっている。(夫 西高30期)

### 村瀬 敬子 (第二バイオリン)

東京都出身。都立芸術高校を経て東京藝術大学卒業、同大学院修士課程修了。  
これまでに故井上武雄、日高毅、原谷百代、浦川宜也、ベラ・カトーナの各氏に師事。  
東京都立総合芸術高校(旧都立芸術高校)音楽科非常勤講師。  
現在、都内各オーケストラ、室内楽など、フリー奏者として演奏活動中。

### 恵谷 真紀子 (ヴィオラ) 西高27期

東京藝術大学、同大学院修士課程修了。  
ウィリアム・プリムローズ国際ヴィオラコンクール入賞。ドイツ政府給費留学生としてフライ  
ブルク国立音楽大学大学院に留学。ドイツ、フランスにて演奏活動。帰国後、東京ヴィヴァル  
ディ合奏団のメンバー、東邦音楽大学で講師を務めながら(1987年まで)リサイタル、NHK・FM  
出演を含め、ソロ、室内楽を中心に演奏活動。その後2回の独滞在中は、コンチェルトグロッソ  
合奏団(フランクフルト)のメンバー。帰国後、リサイタル、協奏曲演奏、室内楽等各方面で  
活躍。現在、武蔵野音楽大学非常勤講師。  
ヴァイオリンを岩淵龍太郎、ヴィオラを中塚良昭、巖本真理、今井信子、ウィリアム・プリム  
ローズウルリッヒ・コッホの各氏に師事。  
「シュルツェのいたずらオペラガイド」(音楽の友社)訳書あり。

### 伊藤 恵以子 (チェロ)

東京芸術大学附属音楽高校を経て同大学、同大学院博士課程修了。  
チェロを三木敬之、R・フラショー、倉田澄子の各氏に師事。  
日本音楽コンクール入選。2年間パリエコールノルマルで学ぶ。芸大在学中バッハカンタータク  
ラブに所属し、小林道夫氏の指導の下で数多くの宗教曲に触れる。現在、ピアノ四重奏Ensemble  
Delice、Luce、ピアノとのデュオPiacevole、ハープトリオなどの室内楽、モダンとバロック  
楽器での合唱の伴奏やアンサンブル等、様々な演奏活動を行っている。  
訳書に「ポール・トルトゥリエ チェリストの自画像」「メニューインとの対話」がある。

## 出演合唱団員

ソプラノ	卒業期	アルト	卒業期	テノール	卒業期	バス	卒業期
庄司 澄子	6	橋本 友子	6	春木 健一郎	6	大城 朝昭	4
小林 和子	12	高島 節子	12	笠原 哲	8	平間 敏行	8
長谷川 明子	19	小池 陽子	17	児玉 昌久	9	重信 史郎	9
広島 絵里子	21	村田 洋子	19	萩原 愛一	21	新聞 泰弘	12
富山 優子	24	高橋 比路	24			成田 俊彦	PTA
野村 麻里	24	三好 貴子	24			高橋 清	紹介
中野 恵美子	33	龍田 恭子	33				
佐藤 良枝	PTA	山口 由美子	元教員				
成田 万波	PTA	斎藤 尚美	紹介				



## プログラムノート（選曲理由）

指揮者 黒田 彰

このプログラムノートは、この合唱団が、東京都立西高等学校同窓会を母体として、今回が結成15周年ということ踏まえ、書こうと思いました。また、その同窓会が母校を愛し、人と人との繋がりと、継続を大切にされているとすれば、私たちの合唱団もまた団長さんを始め、同じ思いでいると考えました。そこで、このノートを、音楽家で指揮者ヴォイス 트레이ナーの視点から、書いていこうと思いました。選曲するにあたり、西高等学校あるいはその前身の府立第十中学校に縁のある方々の作品、あるいは、作曲家同士が、同期生であったり、師弟であったりと縁のある方々に、光を当ててみようと思いました。また昨今何周年ということで演奏会が行なわれることが少なくなっているかもしれませんが、作曲家や作品を伝え続けるために、周年で歌い続けることは、とても大切なことだと考えております。今回は、信時潔、山田耕筰没後50年の年であり、戦争をまたいで生き抜かれた作曲家がどのように希望を持ち、また苦悩したかを、作品を歌いながら考えてみようと思いました。

## 第一部

### 1. 歌曲集「沙羅」より 丹澤、あづまやの、北秋の

信時 潔（1887 - 1965）作曲 清水 重道（1909—1958）作詞

この曲は、独唱曲として、多くの声楽家に好まれるだけでなく、今尚多くの音楽大学の受験課題曲になっており、日本歌曲の中で重要な位置を占めています。今年作曲家信時の没後50年です。作詞者の御子息が西高に在籍、その縁もあって、西高校の校歌の作曲をされたそうです。私がこれらの曲を歌った時、何とも言えずいい曲だなと思ったものでした。その時は気づきませんでした。作詞者まで、西高校歌と一緒にこの曲。校歌を若い時に何度も聴き、歌い、身に付いた歌が、今となっては、その作曲家のこれらの歌が、なぜか惹きつけたのも、わかるような気がします。良い作曲家と作詞家の校歌は何ものにも代え難いものだと思います。普段は気づかない深いところに校歌があり、口ずさみ、成長するのだと思いました。少なくとも私はそうだったようです。

また、旧制府立十中の校歌は長く作曲者不詳とされていましたが、福井直秋先生（武蔵野音楽大学の創立者）の作曲とある時から記されるようになりました。また、福井先生御夫妻が、仲人をされた白澤清人先生<sup>i</sup>（1887 - 1966）が後に府立十中（後の都立西高）初代校長先生になられた方だったのもご縁を感じるころでした。「麗しく研き造らむあきらけく掲げ示さむ」という校歌の精神を持って歌います。1曲目は「たばこ吸うてみる、ひとり」に、2曲目は「きみは いまさず 憎や このきみ」に、3曲目は「北秋の花」に、思いを込めて演奏致します。

### 2. わたりどり 大中 恩（1924—）作曲 北原 白秋（1885—1942）作詞

1943年の作品。大中先生は、作曲を信時潔に学ばれました。童謡の「さっちゃん」「犬のおまわりさん」も有名ですが、西高の学友歌を作曲されました。昨年90歳を迎えられ、私ども合唱団にも暖かいお言葉を頂きました。戦時中大中先生の若き日の思いのこもった作品です。わたりどりの詩から、西高の地を、心の故郷とし、わたりどりの訪れる里山となればとイメージをふくらませました。里山とは人が作り、そこに生き物が住み、生態系を作り、次第に多様な生き物が住み、渡り鳥もそこを目指して帰ってくる。そのような里山を宮前の地に作りたと思いました。多様な職業<sup>ii</sup>に就く西高の卒業生の心の里山になる。「地に落ちよ、一粒の麦」という東京都立西高等学校学友歌<sup>iii</sup>の精神を持って歌います。「遠ければ遠いほど空は青うて、高ければ高いほど脈立つ山よ」と歌います。

### 3. 沼 大中 恩 作曲 大木 惇夫<sup>iv</sup>（1895—1977）作詞

それぞれの声部が掛け合う様にして歌われます。特にテノール声部が素敵な旋律を奏でます。大木は、「大地讃頌」の作詞者でも有名です。

#### 4. 早春賦 中田 章 (1886 - 1931) 作曲 吉丸 一昌<sup>v</sup> (1873 - 1916) 作詞

中田章は会津藩士の父親を持ち、三男が、作曲家中田喜直先生<sup>vi</sup> (1923-2000) です。この合唱曲は、編曲が林光 (1931 - 2012) であり、この曲の中頃にピアノの独奏があるところが特徴の一つとなっています。春にふさわしい一曲です。「春は名のみ 風の寒さや」と歌います。早春といえば、西高の校章の由来も、百花に先んじて咲く梅の花です。<sup>vii</sup> 思いを込めて歌います。

#### 5. 中国地方の子守歌 山田 耕筈 (1886 - 1965) 作曲 日本古謡 (岡山)

岡山県西南部井原市高屋町に歌い継がれた子守唄とされています。山田は、赤とんぼ、ペチカなど多くの愛唱歌を生み出し、またオペラを作曲し活躍したことは知られています。今年が没後50年の年。戦時下の活動により、戦後に戦犯論争が起きましたが、その作曲家の生きた時代、生涯を知れば知るほど、その曲の味わいと輝きが増す作品の一つです。「ねんころろん、ねんころろん」の心情と声の響きを大切に歌います。

#### 6. 河口 團 伊玖磨 (1924~2001) 作曲 丸山 豊<sup>viii</sup> (1915 - 1989) 作詞

九州の大地を流れる筑後川を歌う雄大な曲。故郷の自然を、男声と女声が「岸辺の虫たち、ああ おどけた虫たち」と掛け合いながら歌うところが、難しくまた素晴らしい所です。團先生は作曲を山田耕筈にも学ばれました。今日5月17日が先生<sup>ix</sup>のご命日なのも何かのご縁かと思いました。「筑後平野の百万の生活の幸を、祈りながら川は下る有明の海へ」と壮大に歌います。

## 第二部

#### レクイエム 作品48 ガブリエル・フォーレ 作曲 (1845-1924<sup>x</sup>)

今年が生誕170年。サンサーンスに師事し、ラヴェルに作曲を教授しました。この曲は、1885年フォーレの父の死、1887年母親が亡くなった時に作曲されましたが、両親のためというよりは、その枠を超えて「レクイエム」は作曲され、マドレーヌ教会で初演されました (1888年)。フランスは、19世紀<sup>xi</sup>、20世紀の初頭、文化では世界の中心的役割を果たしていました。<sup>xii</sup> その時代にあって、この曲は「レクイエム」の中でも傑作<sup>xiii</sup>とされています。

今回は、歌詞<sup>xiv</sup>の中で、光 (Lux) <sup>xv</sup>と羊(Agnus) <sup>xvi</sup>という言葉、特に大切に練習してまいりました。そしてこの光の中、合唱によって、心の木の葉に、心の光をあて、心の光合成によって、心の酸素を生み出し、心の花を咲かせられればと思っています。

どのような方々に想いを寄せて歌うかについては、同窓会が母体だからというわけではなく、この合唱団を支えてくれ昨年亡くなられたお二人の団員、ご逝去された恩師、昨年末亡くなった私ども西27期のヴァイオリンのとても上手な同期生、さらに亡くなられた多くの各期の西高同窓生のために歌わせて頂こうと思います。またこの合唱団は、東日本大震災<sup>xvii</sup>に際して心を込めて歌い続けました。<sup>xviii</sup> 今回も、東日本大震災の被災地に想いを寄せ<sup>xix</sup>、またその2年前宮城岩手内陸地震で現地の地域興しに道半ばで亡くなられた同窓生 (西高30期)、団員の皆様の亡くされたお近しい方々と今日ご来場の皆様の亡くされたお近しい方々、20年経った阪神淡路大震災の被災地に、10年経ったパキスタン大地震の被災地、先月のネパール大地震の被災地、その他、この10年私どもの合唱団が歌ってまいりました世界の自然災害地、その全てに想いを寄せて歌わせて頂きます。さらに今年もまた、外国の方々が、日本人とともにベルリン、ウィーンで東北の復興を願って歌って頂きました。そのお礼の意味も込め、今回この曲を精一杯歌わせて頂きたいと思っています。

## 【 注釈 】

- i. 白澤先生は、府立第三中(両国高校)で、福井直秋先生(1877-1963)とともに勤務され、歴史をご担当でしたが、その「子雀」という詩に、福井直秋先生が作曲されています。また作曲家ジルヒャーによる「良き友」の訳詞も手がけられ、「誠君は良き友、君は我が命」と歌っています(国立国会図書館蔵、歴史的音源シリーズ)。晩年は山脇学園短大教授とともに、武蔵野音楽大学の理事をされておられました。(1966年朝日新聞)
- ii. クラシック音楽の分野でも、最近では中高生や大人にも人気の合唱曲作曲家、信長富貴氏(1971-)、海外の音楽大学で教鞭をとる者、日本の合唱に貢献する者、ガムラン音楽を演奏する者、オペラ歌手、また音楽大学を卒業して、公務員や企業に勤めている音楽家も同窓生にいます。
- iii. 西高学友歌は、西高校歌(1954年10月23日に発表)に先駆け、1952年10月の創立15年記念式典で発表されました。(1979年の記念祭では、数年続けられた職員合唱団によるカルメンが演奏されました)(国立国会図書館蔵、西高の50年1988)
- iv. 1922年北原白秋と山田耕筰が編集する「詩と音楽」創刊号に初めて詩を発表するほど、北原白秋に影響を受けました。戦時中の愛国詩によって、戦後非難を受けるも、「大地讃頌」は全国の中高生の圧倒的支持を受けました。
- v. 東京帝国大学卒業。東京府立第三中学校、教え子に芥川龍之介がいます。文部省著作尋常小学唱歌編纂委員会、作詞委員会委員長。
- vi. 夏の思い出など多くの名曲を作曲。私は直接先生の歌曲を教えて頂きました。
- vii. 白澤先生が校章をお決めになった時言われました。(国立国会図書館蔵、西高の50年1988)
- viii. 生誕100年の記念の年。日本の医師、現代詩人。大中恩作曲「みずのうた」の作詞。
- ix. 團先生は、私がオペラ歌手としての登竜門、文化庁オペラ研修所に入学した時の所長でした。
- x. 没年1924年は、大中先生と團先生の生まれた年にあたります。
- xi. フランスの同世代人に小説家のジュール・ヴェルヌ(1828-1905)がいます。「八十日間世界一周」で有名ですが、近学者の間から、19世紀のテクノロジーのもと100年後を 予想した「二十世紀のパリ」の評価が高まっています。今年が没後110年。(ミチオ・カク教授最先端物理学NHK2014)
- xii. 印象派ルノワール、モネ、印象派、藤田嗣治。また、フランスには、歴史記憶法という法があり、過去の過ちを繰り返さないようにしています。(07/1/23朝日新聞)
- xiii. フォーレ自身も葬儀にはこの曲が演奏されましたが、最近では、ケルン大聖堂でのドイツ飛行機事故追悼ミサで、この曲が演奏されていたのは記憶に新しいところです。
- xiv. 本日使用の楽譜の監修をされた作曲家で、武蔵野音楽大学で教えられた萩原英彦先生(1933-2001)は、團伊玖磨に師事し、日本の合唱界に貢献された方です。
- xv. 私たちは、光の大切さを感じてはいるものの、日頃あまり関心を寄せていないのかもしれませんが。光は科学の世界でも長い間の謎とされ、宗教そして音楽の世界でも大切なものとされてきました。昨年日本人がこの光LEDでノーベル賞を受賞したことも記憶に新しいところですが、人類の長い光に寄せる思いと謎を解明したのが今から丁度110年前であり、その発見発明者が今年没後60年のアインシュタインです(科学技術館光展2014)。光を当てるとは、英語ではenlightであり、啓蒙という意味でもあります。
- xvi. この言葉を大切に歌おうと心がけ、本年が干支の未年というだけでなく、発声など工夫を凝らした、通称黒田式十二支発声法を取り入れて練習しました。
- xvii. 2011年NHKラジオ第一 岩手県立大槌高校の校長先生 震災の中 大切なこと 避難する高校と地域の連携の大切なこと。日頃から地域との連携をしておくことがいざという時大切。(1995年阪神淡路大震災 NPOの方が東京で公演。日頃地域に集まる集団を作っておくこと。いざという時力を発揮すると直接聞き、合唱団の重要性を再認識しました。)
- xviii. 「一度歌うことは二度祈ること」という西洋の教えに従い、歌い続け、その1年後の同日追悼コンサートを行いました。(2012年3月11日)(この日東北大学OB合唱団[団長さんは西高卒業生]も東京で演奏会をされ、団長さんを通じ同じ気持ちで歌わせて頂きました。)
- xix. 2015年3月8日NHKスペシャル 東日本大震災 震災4年被災者一万人の声より 男性41歳失業中。「人は何かに共鳴し、勇気づけられ少しずつ立ち直っていく。その何かとは、未来への希望の光と人間の温もりなのだと感じます。(中略)被災者の心の復興にも時間が必要です。この大災害を忘れないで欲しいです。」

## フォーレ「レクイエム」 訳詞

### 第1曲: Introitus et Kyrie (入祭唱とキリエ)

主よ、永遠の休息をかれらに与え、  
絶えざる光をかれらの上に照らしたまえ。  
神よ、主の賛美をふさわしくたえるのは、  
シオンにおいてである。  
エルサレムでは、  
主に犠牲(いけにえ)を捧げたてまつる。  
すべての肉体のむかうべき  
主よ、われらの祈りを聴きたまえ。

主よ、憐れみたまえ。  
キリストよ、憐れみたまえ。

### 第2曲: Offertorium (奉献唱)

光栄の王、主イエス・キリストよ、  
死んだ[信者すべての]靈魂を  
地獄の罰と底知れない深淵とから救い出し、  
それらを獅子の口から解き放ちたまえ。  
かれらを冥府におとさず、  
闇に投げたもうことなかれ。  
[しかし旗手聖ミカエル……]  
主よ、称賛の犠牲(いけにえ)と祈りとを  
われらは主に捧げたてまつる。  
今日記念する靈魂のために  
これを受けいれたまえ。  
主よ、かれらを死から生命へと移したまえ。  
主がその昔アブラハムとその子孫とに  
約束したもうたその生命へ。

### 第3曲: Sanctus (感謝の讃歌)

聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、  
万軍の神なる主。  
主の栄光は天地に満つ。  
天のいと高きところにホザンナ(主を讃めたたえよ)。  
聖なるかな。



(パリ マドレーヌ教会 フォーレ「レクイエム」初演)

### 第4曲: Pie Jesu (ピエ・イエズ)

主よ、やさしいイエスよ、かれらに休息を与えたまえ。  
かれらに休息を、永遠(とわ)の休息を与えたまえ。

### 第5曲: Agnus Dei (平和の讃歌)

神の小羊、世の罪を除きたもう主よ、  
かれらに休息を与えたまえ。  
神の小羊、世の罪を除きたもう主よ、  
かれらに永遠(とわ)の休息を与えたまえ。  
主よ、永遠の光明をかれらの上に輝かせたまえ、  
永遠(とこしえ)に主のもとにある諸聖人とともに、  
慈悲深き主よ。  
主よ、永遠の休息をかれらに与え、  
絶えざる光をかれらの上に照らしたまえ。  
永遠(とこしえ)に主のもとにある諸聖人とともに、  
慈悲深き主よ。

### 第6曲: Libera me (リベラ・メ: 赦禱文)

主よ、かの恐ろしい日に、  
わたしを永遠の死から解き放ちたまえ。  
天地が震(ふる)い動くその日。  
主がこの世を火をもって審判(さば)くために  
来られたもうとき。  
わたしは、来たるべき判決と、そこにくだされる怒りに  
想いを馳せ、ふるえ慄(おのの)く。  
その日こそ怒りの日、禍(わざわ)いの日、悩みの日、  
[その日こそ]大いなる悲嘆の日。  
主よ、永遠の休息をかれらに与え、  
絶えざる光をかれらの上に照らしたまえ。  
主よ、かの恐ろしい日に、  
わたしを永遠の死から解き放ちたまえ。  
天地が震い動くその日。  
主がこの世を火をもって審判(さば)くために来られたもうとき。  
主よ、わたしを解き放ちたまえ。

### 第7曲: In paradisum (楽園にて)

天使たちが[あなたを]天国につれていくように。  
あなたがそこに到着するとき、殉教者たちが出迎え、  
エルサレムの聖なる都に誘(いざな)うように。  
天使のむれがあなたを出迎え、かつて貧しかった  
ラザロの入ったその永遠の休息に導きたまわんことを。

(「フォーレ:レクイエム」(株)河合楽器出版、萩原英彦 監修より)

~~~~~会場のみなさまも一緒に~~~~~

### 見上げてごらん夜の星を



見上げてごらん 夜の星を  
小さな星の 小さな光りが  
ささやかな幸せを 歌ってる

見上げてごらん 夜の星を  
ぼくらのように 名もない星が  
ささやかな幸せを 祈ってる

手をつなごう ぼくと  
追いかけて 夢を  
二人なら 苦しくなんかないさ

見上げてごらん 夜の星を  
小さな星の 小さな光りが  
ささやかな幸せを 歌ってる  
ささやかな幸せを 歌ってる



### 花は咲く

真っ白な 雪道に 春風香る  
わたしは なつかしい  
あの街を 思い出す

叶えたい 夢もあった  
変わりたい 自分もいた  
今はただ なつかしい  
あの人を 思い出す

誰かの歌が聞こえる  
誰かを励ましてる  
誰かの笑顔が見える  
悲しみの向こう側に

花は 花は 花は咲く  
いつか生まれる君に  
花は 花は 花は咲く  
わたしは何を残したろう

夜空の向こうの朝の気配に  
わたしは なつかしい  
あの日々を 思い出す

傷ついて 傷つけて  
報われず 泣いたりして  
今はただ 愛おしい  
あの人を 思い出す

誰かの想いが見える  
誰かと結ばれてる  
誰かの未来が見える  
悲しみの向こう側に

花は 花は 花は咲く  
いつか生まれる君に  
花は 花は 花は咲く  
わたしは何を残したろう

花は 花は 花は咲く  
いつか生まれる君に  
花は 花は 花は咲く  
わたしは何を残したろう

花は 花は 花は咲く  
いつか生まれる君に  
花は 花は 花は咲く  
いつか恋する君のために